

こうち+クロス

高知赤十字病院広報誌

2017.1
vol.38

ご自由にお持ち帰りください



シリーズ土佐の感動風景
「万両」

冬に付ける光沢のある赤い果実と緑色のコントラストが美しく、「万両」という、いかにもたくさんのお金をほうふつとさせる名前で、正月用の縁起木として親しまれています。今回の写真は、四万十町江師で「農家民宿 おふくろ」を営まれているご夫婦が育てている「万両」です。（撮影地／四万十市 撮影者／山岡 引用／ヤサシイエンゲイ）

高知赤十字病院の理念

愛され、親しまれ、信頼される病院づくりを目指します。

高知赤十字病院基本方針

- 人道・公平・中立・奉仕の赤十字基本原則を遵守します。
- チーム医療を推進し、患者様中心の安全で良質な医療を提供します。
- 高度医療の推進と救急医療の充実を図ります。
- 地域医療機関との連携を推進し、地域医療レベルの向上に努めます。
- 教育・研修の推進と次代を担う医療従事者を育成します。
- 災害時における医療救護活動への積極的な参加と支援を行います。

受診される皆様へ

私たちは、受診される皆様の権利を尊重します

- 平等かつ適切な医療を受ける権利
- 個人の権利が尊重される権利
- プライバシーが保障される権利
- セカンドオピニオンを受ける権利
- 医療上の情報及び説明を受ける権利
- 医療行為を選択する権利

私たちからのお願い

- ご自身の健康に関する詳細な情報を医師をはじめとする医療提供者にお知らせください。
- 治療や検査等は、理解し、納得したうえでお受けください。分からないことは、ご遠慮なく医師をはじめとする医療提供者にお問い合わせください。
- 病院内では他人の迷惑にならないようお願いいたします。
- 暴言・暴力行為があった場合、診療をお断りすることがあります。
- 医療費の支払い請求には、速やかな対応をお願いいたします。
- その他、より快適な入院生活をお過ごしいただくために、病院内の約束事についてはご協力をお願いいたします。

新年あけまして

おめでとう

ございます

県民の皆様や関係機関の皆様には日頃から当院の運営につきまして、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年4月には熊本大地震が起きました。その後鳥取、福島、年末には茨城と立て続けに大きな地震が起こり、いつ南海トラフ巨大地震が来てもおかしくない状況になっています。

南海トラフ巨大地震を想定すると、現在の立地条件では長期浸水のため災害拠点病院としての役割はおろか、病院機能を維持することも困難となるため、現在当院では新築移転を進めており、本年三月着工、平成三十一年春開院予定です。

新病院は災害に強い病院ということだけではなく、がん診療を含めた高度医療を担う病院として、最新の医療設備や機器を整備、充実し、急性期病院としての機能の強化を図っています。

皆様と一緒に良い病院になるように、さらに飛躍してまいります。

最後になりましたが、本院を支えてくださる県民の皆様、関係医療機関の皆様の健康とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

高知赤十字病院

院長 浜口 伸正

安全で安心な薬物治療のために！

～薬剤師の活動をご紹介します～



薬剤部では、病棟に専任の薬剤師を配置し、医療チームの一員として、安全な薬物治療のサポートを行っています。



患者さまが入院された際には、持参薬を含む薬の相互作用(飲み合わせ)、重複投与、腎・肝機能に応じた投与量、副作用の発現などをチェックし、必要に応じて、医師に処方変更の提案を行っています。また、大切な薬が服用開始された際には、患者さまに薬の効能・効果や服用方法などについて説明しています。

さらに、転院される患者さまには、担当の薬剤師が必要に応じて「薬剤に関する情報提供書」を作成しています。地域医療支援病院として、切れ目のない薬物療法が行われるように、副作用歴、当院入院中の処方などに関して詳細な内容を記載し、連携強化に努めています。

薬についての様々な相談についても、随時対応させていただきます。心配や不安なことがあれば、いつでもお声掛けください。



薬剤師による説明の様子

入院時

- ・持参薬鑑別
- ・副作用歴、アレルギー歴の確認

※看護師が対応する場合もあります

入院中

- ・服用状況の確認
- ・効能・効果、服用方法の説明
- ・副作用とその対応の説明

※必要に応じて指導を行っています

退院時 (転院時)

- ・効能・効果、服用方法の説明(本人または家族)
- ・飲み忘れた時の対応
- ・処方内容、副作用発言の有無、調剤上の工夫など記載(お薬手帳)
- ・かかりつけ医療機関への「薬剤に関する情報提供書」作成(転院時)

※必要に応じて対応しております

高知赤十字病院は、
チーム医療で患者さまの治療を
支えています。

脳卒中による半身まひからの「挑戦」

安岡さんの病歴

自営で鍼灸師をされておられましたが、平成21年8月1日に突然の意識障害で発症。当院に救急搬送され、巨大な脳出血による昏睡、瞳孔不同など非常に重症のため救命目的に緊急開頭血腫除去術を行いました。その後は集中治療や急性期リハビリテーションを行い、意識障害は改善、左片麻痺の状態。同年9月9日に近森リハビリテーション病院に転院されました。

その後も回復期リハビリテーションを続けながら機能回復に励まれ、左不全片麻痺、左下肢装具利用、車イス移動の状態。自宅退院されましたが、左上下肢の痙攣もあり仕事復帰は困難な状況でした。

そこで、後遺障害の改善手段としてボツリヌス+リハビリテーション併用療法を提案したところ、病院での注射に使われる針（27Gの細い針なのですが）が、ご自身が鍼灸業の際に使われる繊細な針より太く恐怖感がかかりあったとのことでしたが、後遺症に対する改善意欲は高く、治療を受ける決心がついたため、平成27年6月から治療を開始することになりました。



平成28年11月、安岡さんにお話をお伺いすることができました。

安岡さんは、前述のとおり、脳卒中発症後、左半身に麻痺が残り、左腕から掌に拘縮（つっぱり硬くこわばる状態）の後遺症が残っています。

この拘縮を少しでも和らげようと当院では、「ボツリヌス治療」を実施しており、安岡さんもこの治療を受けられています。そして、ここから安岡さんの新しい挑戦が始まりました。

「挑戦」のきっかけは、現在、就業されている作業所で競技を勧められたから、とのことですが、その作業所への道には「ボツリヌス治療」も大きく関係していると言います。病気でうつむきがちになっていた上に、とにかく注射が嫌いで治療を躊躇していた安岡さん。症状の改善への意欲と奥さまの強い勧めで治療に踏み切りました。

治療を開始すると、思ったほどに注射の痛みは感じず、何よりも、柔らかくなる腕や掌の感覚に、気持ちが前向きになった、とおっしゃいます。そして、この前向きな気持ちで、作業所での就労に結び付いた、ということです。

そして、勧められ、楽しく続けてきた競技で今回、初の全国大会への切符を掴んだのです。

安岡さんからお伺いしたスポーツ大会での成績ですが、大会名は、「第61回全国障害者スポーツ大会」の希望郷いわて大会で、フライングディスクの部でアキュラシーというスローの正確さを競う競技で7位、ディスタンスという飛距離を競う



競技で3位。素晴らしい戦績です！

この時奥さまは、大会出場は、もちろん嬉しかったけれど、病気になることから始めての旅行で、それも岩手県という遠い場所での不安が大きかった、と言います。しかし、多くの方に支えられ、無事旅程を終える事が出来たことが、何よりもお二人にとって、かけがえのない経験になった、とおっしゃっていました。

「ボツリヌス治療」は、残念ながら根治治療ではありません。しかし、治療を受けている患者さんが前向きに笑顔で過ごされるきっかけの一つになったのかな、と思うと嬉しい限りです。

「安岡さんは、今でこそ明るい笑顔を見せてくれますが、治療当初は余り笑わなかったんですよ、こんなに笑ってお話できるなんてびっくりすると同時に、本当に嬉しいんです。」と「ボツリヌス治療」窓口の梅原課長は言います。さらに主治医であり、チームボツリヌスの生みの親である鈴江医師は、「こうして素敵な笑顔に出会えることが、私たち医療者の喜びであり、目指すものなんだと、改めて感じます。」と。短い取材時間ではありましたが、たくさんのお礼の言葉をいただいたような気がします。作業所での多世代での交流に毎日がとても楽しい、と話してくれた安岡さん。これからも、きっとその素晴らしい笑顔とパワーで、新しい世界を拓いて行かれることだと思えます。私たちも、患者さまが笑顔になれるような治療を目指して、たゆまぬ努力を続けなければ、と気持ちを新たにすることができました。

最後になりましたが書面をお借りして、改めて安岡ご夫妻に御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

Thank you for your
WONDERFUL smile!



▲治療風景▲

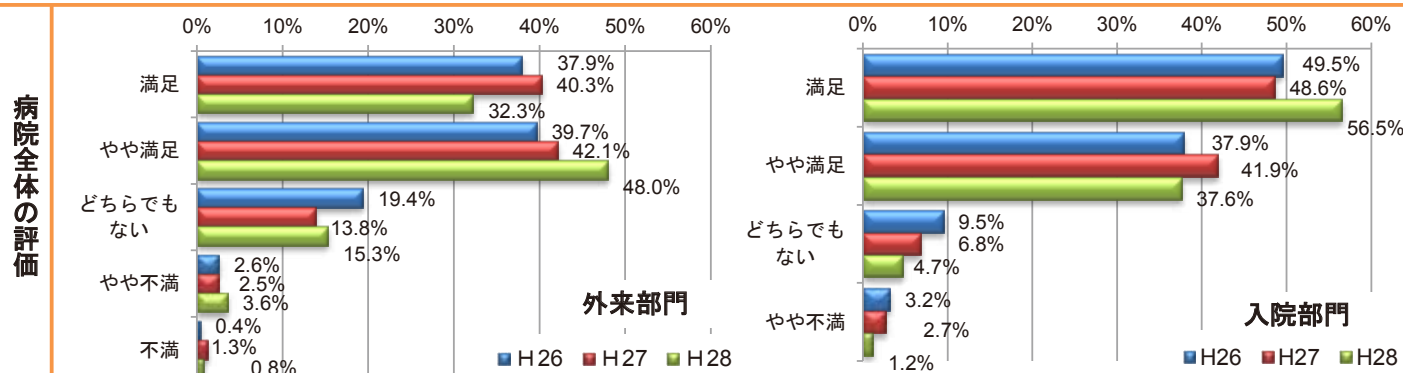


▲安岡さんを囲んで「チームボツリヌス」

これからも、一つひとつの治療が「笑顔」に繋がることを目指して、チーム一丸となって取り組んでいきます！

平成 28 年度患者満足度調査集計結果報告※抜粋

多数の皆さまのご協力により、貴重なご意見・ご要望をいただきましたことにお礼申し上げます。今後とも引き続き改善に努めてまいります。なお、当アンケート集計結果は、一定期間院内掲示および閲覧ファイルにてご自由にご覧いただけます。（H29.1 中旬～H29.3 予定）



ご意見への回答

・サービスは上等です。看護師をはじめ医師の細かい配慮が充分にされていて、安心して治療が受けられ嬉しかった。職員全体、感じが良い。

あたたかいお言葉ありがとうございます。職員にとって何よりの励みとなります。今後も、職員一同、日々の業務の一つひとつを丁寧に、患者さまに安心していただける安全な医療、看護を目指してまいります。ありがとうございました。

・大変お忙しいとは思いますが、もう少し一人ひとりの気持ち、思いと向き合ってほしい。聞いて頂けるだけでも気持ちが落ち着くものだと思います。/・入院していた時、夜の看護師の対応がものすごく悪かったです。

医師・看護師の対応が充分でないために不快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ありませんでした。患者さまに真摯に向き合い、安心していただける診療、看護を提供できるように接遇研修等による職員教育を反復継続し、改善に努めてまいります。貴重なご意見ありがとうございました。

厚生労働大臣より感謝状が授与されました

この度、西山謹吾副院長のこれまでの臓器移植に対する功績が評価され、「臓器移植推進国民大会」（平成 28 年 10 月 23 日、静岡市）において、厚生労働大臣から「臓器移植対策推進功労者」を授与されました。

また、病院に対しても、臓器移植の推進に顕著な功績があった団体として、感謝状が贈呈されました。



おすすめお手軽レシピ

管理栄養士 沖のぞみ

味噌マヨの風味と、とろけたチーズの相性が抜群です♪

里芋の味噌マヨチーズ焼

作り方

■材料(1人分)

里芋(生) …… 70g
コショウ …… 0.1g
味噌 …… 8g
酒 …… 3g
みりん …… 3g
砂糖 …… 3g
マヨネーズ …… 3g
葱 …… 5g
ピザチーズ …… 5g

■栄養成分: 1人分

エネルギー 113kcal
たんぱく質 2.5g
塩分 0.7g

- 1 里芋にラップをかけ600Wで6～7分加熱した後5分蒸らす。
- 2 味噌・酒・みりん・さとうを混ぜ合わせて小鍋に入れてアルコールを飛ばしながら煮詰める。
- 3 里芋を一口サイズに切ってこしょうをふって耐熱容器に入れる。
- 4 2とマヨネーズを混ぜ「味噌マヨ」を作る。
- 5 3に「味噌マヨ」をかけ小口切りした葱とピザチーズを散らしオーブントースターでチーズがとけて焼き色がつけば出来上がり。

今回はとっても簡単で子供たちも喜んで食べてくれること間違いなしの里芋料理をご紹介します。生の里芋があればよりおすすめですが市販の冷凍里芋でも大丈夫。もう1品おかずが欲しいなと思った時や料理に使用したあと中途半端に里芋が残った時などにお試しください。煮物や田楽とはまた違うおいしさを感じていただけますよ。



美味しい里芋の選び方♪
・泥付きで湿り気のあるもの
・縞模様がはっきりしたもの
・丸みがあり、固くしっかりしたものを
選びましょう！



皆さまへよりよい情報提供ができる紙面づくりを目指しております。
本誌に対するご意見やご要望などございましたら、高知赤十字病院医療事業・広報課までお寄せください。

(088-8221201 (代表))

